公式競技について

- (a) 一般月例杯A、Bクラス分けはJGAハンディキャップインデックスで次の通りとする。
Aクラス	10.4迄
Bクラス	10.5以上
- ただし、JGAハンディキャップインデックス変更に伴いクラス区分が変わる場合がある。
なお、その他の公式競技のクラス分けは行わない。
公式競技のプレースタイルについてはクラブが定めた参加人数によってキャディ付プレーかセルフプレーは組み合わせ発表時に提示する。
- (b) 公式競技会の優勝スコアが同点の場合、プレーオフは行わずハンディ・年齢順にて決定する。
ただし、各主要競技優勝者（チャンピオン）の決定方法は各項目の規定に準ずる。
- (イ) 各選手権のマッチプレーにおける入賞規定は最下位及びストロークプレー入賞者順位最下位決定でタイがある場合はマッチング・スコアカード方式を採用して決定する。なおタイの場合は17番ホールからのカウントバック方式により決定する。
マッチング方式を採用するのは丹頂コース1番から9番ホール/36ホール競技の場合には2ラウンド目の丹頂コース1番から9番ホール採用。
なお、アンダーハンディキャップ競技ではネット、ハンディ（ハンディキャップインデックス上位）・年齢順にて決定する。
- (ロ) プレーオフを行う場合スクラッチ競技はサドンデス方式（3ホール以上）にて行うが使用コースは行われる時の予約状況等により担当競技委員とクラブ側でその都度決定する。
アンダーハンディキャップ競技では3ホール以上のプレーオフを行うがプレー開始後天候の悪化及び日没等でプレーの続行が困難であると競技委員が判断した時はマッチング方式を採用して決定する。
なお、アンダーハンディキャップ競技のプレーオフを18ホール以下で行う場合はプレーするホール数と18ホールとの比率をそれぞれのプレーヤーのハンディキャップに乗じて決める。その場合の端数は四捨五入とする。
- (c) クラブ選手権、シニア選手権、ミッドシニア選手権、グランドシニア選手権、レディースチャンピオンシップの予選競技会に出場し予選通過した者が正当な理由なしに欠場した場合は必要に応じ競技委員会が欠場理由を聴取し、適宜な処置をとるものとする。
- (d) 各公式競技の競技運営規則を修正する権限は競技委員会が有し、すべての事柄について委員会の裁定は最終である。各公式競技の競技終了は各当番委員の成績発表がなされた時点をもって終了とする。

クラブ選手権（スクラッチ）

- (a) 組合せは申込み締切日の午後に競技委員会正副委員長が抽選により決定する。
- (b) 予選ラウンドは36ホール・ストロークプレーのスクラッチ競技で行う。
プレースタイルについては予選ラウンドに限り、参加人数がクラブの定めた規定人数を超えた場合、予選ラウンドは全ての組がセルフプレー、予選通過後のマッチプレーはキャディ付プレーとする。

予選通過者数はスコア上位16名とし予選通過者は以後、マッチプレー競技にて、その年度のチャンピオンを決定する。予選ラウンドは、競技委員長及び代理委員の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

- (c) 予選ラウンドにおいて、予選通過者最下位の決定は「公式競技規則 (b) (イ)」の項を適用し最下位を決定する。マッチプレーの組合せで同成績の人の順位はスコアカードを先に提出した人を上位とする。
- (d) マッチプレー競技の1回戦から準決勝戦までは18ホールとし、決勝戦は36ホールとする。使用コースについては年度始めに委員会にて決定する。
- (e) 1回戦から決勝戦まで、それぞれ最終ホールまでに決着がつかない場合は当日使用コースのOut 1番ホールよりサドンデス方式にて行う。なお、プレー開始後天候の悪化及び日没等でプレーの続行が困難であると競技委員長及び代理委員が判断した場合は、次の対戦前に競技が終了する日程を決定しサドンデスの続きを行うこととする。
本競技は、競技委員長及び代理委員の決勝戦の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

シニア選手権(スクラッチ)

- (a) シニア選手権の参加資格は、開催年中に満55歳以上になる者とする。
- (b) 組合せは申込み締切日の午後に競技委員会正副委員長が予め抽選により決定する。
予選ラウンドは18ホール・ストロークプレーのスクラッチ競技で行う。
プレースタイルについては予選ラウンドに限り、参加人数がクラブの定めた規定人数を超えた場合、予選ラウンドは全ての組がセルフプレー、予選通過後のマッチプレーはキャディ付プレーとする。
予選通過者は以後、マッチプレー競技にて、その年度にチャンピオンを決定する。
予選ラウンドは、競技委員長及び代理委員の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
- (c) 予選ラウンドにおいて、予選通過者最下位の決定は「公式競技規則 (b) (イ)」の項を適用し最下位を決定する。マッチプレーの組合せで同成績の人の順位はスコアカードを先に提出した人を上位とする。

参加者数	24人未満	8名
	25人以上	16名
- (d) マッチプレー競技の1回戦から準決勝戦までは18ホールとし、決勝戦は27ホールとする。使用コースについては年度始めに委員会にて決定する。
- (e) 1回戦から決勝戦まで、それぞれ最終ホールまでに決着がつかない場合は当日使用コースのOut 1番ホールよりサドンデス方式にて行う。なお、プレー開始後天候の悪化及び日没等でプレーの続行が困難であると競技委員長及び代理委員が判断した場合は、次の対戦前に競技が終了する日程を決定しサドンデスの続きを行うこととする。
本競技は、競技委員長及び代理委員の決勝戦の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

ミッドシニア選手権(スクラッチ)

(a)参加資格は、開催年中に満63歳以上になる者とする。

(b)組合せは申込み締切日の翌日にクラブ側にて抽選により決定する。

同選手権は当日参加者が16名未満の場合はマッチプレーを実施する。

16名以上31名までの予選通過者は8名、32名以上の予選通過者は16名と競技の詳細は別途定めるが参加者が16名未満の場合は従来通り18ホールストロークプレーとする。

プレースタイルについては予選ラウンドに限り、参加人数がクラブの定めた規定人数を超えた場合、予選ラウンドは全ての組がセルフプレー、予選通過後のマッチプレーはキャディ付プレーとする。

(c)同選手権の入賞者規定は次の通りとする。入賞規定の最下位の決定は「公式競技規則 (b)(イ)」の項を準用する。

参加者数	6～7人	2名
	8～15人	4名
	16～24人	8名
	25人以上	16名

(d)同選手権の使用ティ、使用コースは年度始めに委員会で決定する。

(e)チャンピオン、いわゆる順位1位の者が同スコアで複数いる場合は「公式競技規則(b)(ロ)」

を準用する。本競技は、競技委員長及び代理委員の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

グランドシニア選手権 (スクラッチ)

(a)参加資格は、開催年中に満69歳以上となる者とする。

(b)組合せは申込み締切日の翌日にクラブ側にて抽選により決定する。

同選手権は当日参加者が16名以上の場合はマッチプレーを実施する。

16名以上31名までの予選通過者は8名、32名以上の予選通過者は16名と競技の詳細は別途定めるが参加者が16名未満の場合は従来通り18ホールストロークプレーとする。

プレースタイルについては予選ラウンドに限り、参加人数がクラブの定めた規定人数を超えた場合、予選ラウンドは全ての組がセルフプレー、予選通過後のマッチプレーはキャディ付プレーとする。

(c)同選手権の入賞者規定は次の通りとする。入賞規定の最下位の決定は「公式競技規則 (b)(イ)」の項を準用する。

参加者数	6～7人	2名
	8～15人	4名
	16～24人	8名
	25人以上	16名

(d)同選手権の使用ティ、使用コースは年度始めに委員会で決定する。

理事長杯(アンダーハンディ)

- (a)参加資格はハンディキャップインデックス 24.0 までの者とし、そのハンディを超える参加希望者はハンディを 24.0 に切り上げて参加することを認める。
 なお、予選から決勝迄は予選時のハンディキャップインデックスを採用しマッチプレー時はコースハンディキャップを適用してその差によりハンディホールを決定する。
- (b)組合せは申込み締切日の翌日にクラブ側にて抽選により決定する。
 予選ラウンドは18ホール・アンダーハンディにより競技で行う。
 予選通過者はスコア上位8名とし予選通過者は以後、マッチプレー競技にて、その年度のチャンピオンを決定する。
プレースタイルについては予選ラウンドに限り、参加人数がクラブの定めた規定人数を超えた場合、予選ラウンドは全ての組がセルフプレー、予選通過後のマッチプレーはキャディ付プレーとする。
 予選ラウンドは、競技委員長及び代理委員の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
- (c)予選ラウンド通過者の決定はネット、ハンディ（ハンディキャップインデックス上位）年齢とする予選通過者最下位の決定は「公式競技規則（b）イ」の項を適用し最下位を決定する。マッチプレーの組合せで同成績の人の順位はスコアカードを先に提出した人を上位とする。
参加者数	15人未満	4名
	16人以上	8名
- (d)マッチプレー競技の1回戦から決勝戦までは18ホールとしハンディホールはスコアカードに記載されたハンディホール順にて決定するがハンディ差が奇数の場合はアウトコースを優先する。使用コースについては年度始めに委員会にて決定する。
- (e)1回戦から決勝戦まで、それぞれ最終ホールまでに決着がつかない場合は当日使用コースのOUT1番ホールよりサドンデス方式にて行う。ハンディキャップのあるホールは前ラウンドと同じとする。
 なお、プレー開始後天候の悪化及び日没等でプレーの続行が困難であると競技委員長及び代理委員が判断した場合は、次の対戦前に競技が終了する日程を決定しサドンデスの続きを行うこととする。

レディースチャンピオンシップ（スクラッチ・アンダーハンディ）

- (a)参加資格者は当クラブの女子普通会員で行う
 当日参加者が16名以上の場合はマッチプレーを実施する。
 16名以上31名までの予選通過者は8名、32名以上の予選通過者は16名と競技の詳細は別途定める。
プレースタイルについては予選ラウンドに限り、参加人数がクラブの定めた規定人数を超えた場合、予選ラウンドは全ての組がセルフプレー、予選通過後のマッチプレーはキャディ付プレーとする。
ただし、参加者が16名未満の場合は従来通りとする。

従来通りでの競技方法の場合はアンダーハンディによりハンディキャップインデックスを取得している者で、ハンディ24.4までの者とし、そのハンディを超える参加希望者についてはハンディを24.4に切り上げて参加することができる。

なお、27ホール競技の場合は出場時のハンディに1.5を乗じたハンディで小数点以下の数値も採用する。レディースチャンピオンシップ競技は27ホール・ハンディ戦

ストロークプレー競技で行う。

(b) 組合せは申込み締切日の翌日にクラブ側にて抽選により決定する。

レディースチャンピオンシップ競技は27ホール・ストロークプレーのアンダーハンディ競技で行い優勝を決定する。

(c) 優勝者、いわゆる順位1位の者が同スコアで複数いる場合は「公式競技規則 (b)イ」を準用する。

参加者数	6～7人	2名
	8～15人	4名
	16～24人	8名
	25人以上	16名

(d) 入賞規定の規定者数の順位決定はネット・スコアが同点の場合は、プレーオフは行わずにハンディ・年齢順にて決定する。本競技は、競技委員長及び代理委員の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。